

産・学・官が連携して取り組む 多彩な若手人材確保・育成事業

イメージUP 入職促進 定着促進 人材育成

POINT

- ▶ 工業高校における鉄筋、空調衛生設備関連の出前講座、また地域に密着した建設現場実習を実施。建設業の魅力や役割を発信して、県内就職促進を図っている。
- ▶ テレビ、WEB、新聞等のメディアを積極的に活用した建設業のPRを展開している。
- ▶ 人手不足に悩む鉄筋・型枠・管工事企業の人材確保を支援するため、各業界組合との連携のもと、未就業者を期間雇用して、OJT・OFF-JTによる実務研修を実施。

背景と動機

長崎県では、過去10年間に鉄筋工は半減、型枠工は2/3に落ち込むなど、建設人材の大幅な減少が見られる。高卒者の県外就職率が高い地域固有の事情を考慮し、人材確保・育成は中長期的な視点から実施方針を定めて、取り組む必要があった。

概要と成果

産学官が協議会を設置して、入職促進や定着向上に向けた人材確保育成に取り組んでいる。活動範囲は広く、高校生・大学生向けにマスメディアを利用したPR活動や出前講座、企業面談会等を積極的に実施。建設技能者を育成する教育訓練システムの構築や、長崎大学の「道守」制度を活用した公共インフラ維持管理人材の確保育成など、地域を意識したユニークな取組を展開している。



熟練技能者の指導を受けながら、柱筋の組立作業を体験



「ながさき建設ナビ」のホームページには、建設業の役割、業種や資格の紹介、若手のインタビュー等も掲載

出前講座・広報活動

イメージUP 入職促進

県内工業高校で、鉄筋・空調衛生設備業の出前講座を実施。2年生を対象とする現場実習の開催。建設業のイメージCMの放映(3番組で15秒CMを放映)をはじめ、新聞、ネット等を積極的に利用したPRに取り組んでいる。

成果

- ・出前講座は、工業高校4校で、計8回実施。現場実習(26年度)は50現場、177名参加。
- ・県内13の高校で就職説明会を実施(約700名参加)。大学・一般向け合同企業説明会を開催(2回)し34名が参加。
- ・地元新聞に建設業のPR広告を掲載。「ながさき建設ナビ」を開設、業種等も紹介。

技能者の育成

定着促進 人材育成

鉄筋・型枠など、人手不足が深刻化している専門工事業における人材を確保するため、未就業者等を期間雇用者として採用して、OJTおよびOFF-JTによる人材育成を実施した。

成果

- ・未就業者等10名を期間雇用者として採用、鉄筋・型枠・管工事業の各組合等に再委託して、座学・実務研修を行った。
- ・平成27年度も継続実施を予定。この取組を実績として、未就業者を対象とする専門工事業の教育訓練システムの構築などに取り組む。

多彩な事業メニュー

建設業のやりがいや役割の重要性を発信して、建設業への理解向上を図る対策

① マスメディアを利用した建設業のPR

- 1) イメージ訴求型テレビCM(建設業のイメージCMの放映:15秒CM 3番組)
- 2) 地元新聞での建設業PR広告

② 工業高校への出前講座の実施(4校・8回)

県内建設関係工業高校で、鉄筋・空調衛生設備業の出前講座を実施

県内建設業の良さを知ってもらい、就職活動への参加を促進する対策

③ 高校へのスクールキャラバンの開催(13校で実施。約700名参加)

④ 大学・一般向け企業面談会の実施(2回実施。34名参加)

⑤ 高校生の現場実習(5校で実施。50現場で行い、177名参加)

⑥ 就職情報誌への掲載(合同説明会、期間雇用者の募集を掲載。計4回)

⑦ PRパンフレット作成配布(「建設業のススメ(業種編・資格編)など3種類作成)

⑧ 求人専用HPの作成とインターネット広告(「ながさき建設ナビ」を開設)

専門工事業の人材確保育成を支援する事業(地域人づくり事業の人材育成事業)

⑨ 建設業人材育成事業(未就業者の期間雇用による実務研修)

※上記の他に、人材育成・定着向上のための経営者セミナーなども開催。

PROFILE

長崎県建設産業団体連合会

所在地 / 長崎市魚の町3-33
長崎県建設総合会館
TEL: 095-826-2285

会員数 / 正会員28団体

URL / -